

燃料油価格に関する支援策の推移

	2021年度		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	
支援対象期間	1月27日 ～ 3月9日	3月10日 ～ 4月27日	4月28日 ～ 9月30日	10月1日 ～ 12月31日	1月1日 ～ 5月31日	6月1日 ～ 8月31日	9月1日 ～ 12月18日	12月19日 ～ 5月21日	5月22日 ～ 11月12日	11月13日 ～
補助上限額	5円	25円	35円 さらなる超過分についても1/2を支援		補助上限額を35円から25円まで毎月2円ずつ引き下げ	25円以下は2週ごとに補助率を1/10ずつ引き下げ 25円超は2週ごとに補助率を0.5/10ずつ引き上げ ※段階的に縮減しつつ、高騰リスクの備えを強化	17円超は全額補助、17円以下は補助率3/5 ※流通の混乱を防ぐ観点から、2023年9月は補助率を3/10、10月以降は補助率を3/5	17円超の185円を上回る部分は全額補助、17円以下は毎月補助率を3/10ずつ引き下げ (2024年12月19日～：補助率3/10 2025年1月16日～：補助率ゼロ)	定額引下げ措置 ガソリン：10円 軽油：10円 灯油：5円 重油：5円 航空機燃料：4円 最初の週の支給額は、2週目のガソリンの全国平均価格が5円引き下がるように設定。2週目以降の支給額は、定額に達するまで、全国平均価格が毎週1円下がるように補助を追加する。 予防的な激変緩和措置（6月26日～9月3日） 定額引下げ措置に加え、当該定額補助を講じても、ガソリン全国平均小売価格が175円を超える見込みとなった場合、その超過分について10/10補助。	定額引下げ措置 ガソリン：15円、20円、25.1円 軽油：15円、17.1円 灯油：5円 重油：5円 航空機燃料：4円 11月13日からは、ガソリン15円、軽油15円、11月27日からは、ガソリン20円、軽油17.1円、12月11日からは、ガソリン25.1円を支給額とし、いわゆる暫定税率について結論を得て実施するまで行うこととする。
基準価格	170円 ※4週ごとに1円引き上げ	172円	168円					185円 ※1月16日以降	—	—
対象油種	ガソリン、軽油、灯油、重油		ガソリン、軽油、灯油、重油、航空機燃料					ガソリン、軽油、灯油、重油、航空機燃料		
予算	R3補正予算等：893億円 R3予備費等：3,580億円		R4予備費：1兆5,733億円 R4補正予算：1兆1,655億円		R4第2次補正予算：3兆272億円 R5補正予算：1,532億円 R6予備費：7,730億円		R6補正予算：1兆324億円		※既存予算を活用	

累計予算額：8兆1,719億円